

敦煌寫本研究年報

高田時雄 主編

第四號

2010年3月

京都大學人文科學研究所
西陲發現中國中世寫本研究班

注 記

この『敦煌寫本研究年報』は京都大學人文科學研究所の共同研究班「西陲發現中國中世寫本研究」班の報告である。共同研究の報告書は慣例として一定の研究期間終了後に刊行されることになっているが、本研究班では新しい試みとして毎年度の末に「年報」の形式で研究成果の報告を行うことにした。もちろん少しでも早く成果を學界に届けようとしてのことである。大方の好意あるご支持をお願いしたい。また「敦煌寫本」を誌名に掲げたのは最も一般に受け容れやすい名辭を選擇したに過ぎず、吐魯番ほか新疆各地で發見される寫本をも視野に入れていることは當然である。

目次

藏經音義の敦煌吐魯番本と高麗藏 高田時雄	1
《敦煌變文集》〈下女夫詞〉的整理兼論其與「咒願文壹本」、 「障車文」、「驅儼文」、「上梁文」之關涉問題 王三慶	15
敦煌吐魯番文書中三等次供食問題研究 高啓安	35
唐宋時期敦煌土貢考 余欣	81
《俄藏敦煌文獻》中的西夏科舉“論”稿考 ——簡論唐宋西夏的科舉試論 金滢坤	101
書儀と詩格——變容する詩文のマニュアルとして 永田知之	119
敦煌書儀中の“四海範文”考論 山本孝子	141
唐代西州における群牧と馬の賣買 中田裕子	163
古代チベットの長さの單位: mda' と sor mo 岩尾一史	181
Another Hungarian looting China's treasures? Sir Aurel Stein, Lajos Ligeti and a case of mistaken identity Imre GALAMBOS	195
スタイン地圖と衛星畫像を用いたタリム盆地の遺跡同定手法と 探檢隊考古調査地の解明 西村陽子・北本朝展	209

〔敦煌寫本研究年報 第四號〕

2010年3月31日發行

編者 高田時雄

發行者 京都大學人文科學研究所
「西陲發現中國中世寫本研究班」

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Phone 075-753-6993 Fax 075-753-6999

ISSN 1882-1626